



2006年2月24日

2006年6月期 中間決算説明会

株式会社 構造計画研究所

【本資料についての注意】

本資料に記載されている業績予想等は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済情勢等様々な不確定要因によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

アジェンダ

1.	中期経営計画	2
2.	2006年6月期 期末業績の見通し	4
3.	中間決算の概要	6
4.	財務諸表	14
5.	セグメント別実績	18
6.	重点ビジネステーマ	23
7.	マネジメントの指針	29
8.	建物、人、安全に関するソリューション	34

(注) 本資料の記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております

1. 中期経営計画

中期経営計画（'05/6期～'07/6期）に関する状況

単位：百万円

	'05/6期		'06/6期	'07/6期
	計 画	実 績	計 画	計 画
売 上 高	9,500	9,473	10,000	10,500
営 業 利 益	540	550	730	1,000
経 常 利 益	420	462	620	900
純 利 益	160	7	330	500

2. 2006年6月期 期末業績の見通し

期末業績予想

単位:百万円

	'05/6期実績	'06/6期計画	対前期 増減額	対前期 増減率
売上高	9,473	10,000	526	5.5%
ソフトウェア開発	4,723	5,100	376	8.0%
エンジニアリング コンサルティング	2,457	2,600	142	5.8%
パッケージソフト	2,293	2,300	6	0.3%
営業利益	550	730	180	32.6%
経常利益	462	620	157	34.0%
純利益	7	330	322	-
配当金	@10円/株	@15円/株	配当性向30%を目指します	

事業活動は概ね計画通りに推移しているものと判断しております。

3. 中間決算の概要

中間決算の概要

単位:百万円

	'05/6期 中間	'06/6期中間		- 対前年同期増減額 (増減率)	- 対計画増減額 (増減率)
		計画	実績		
売上高	2,872	3,000	3,175	303 (10.6%)	175 (5.9%)
営業利益	732	680	663	68 (-)	16 (-)
経常利益	778	735	702	75 (-)	32 (-)
純利益	501	430	434	66 (-)	4 (-)

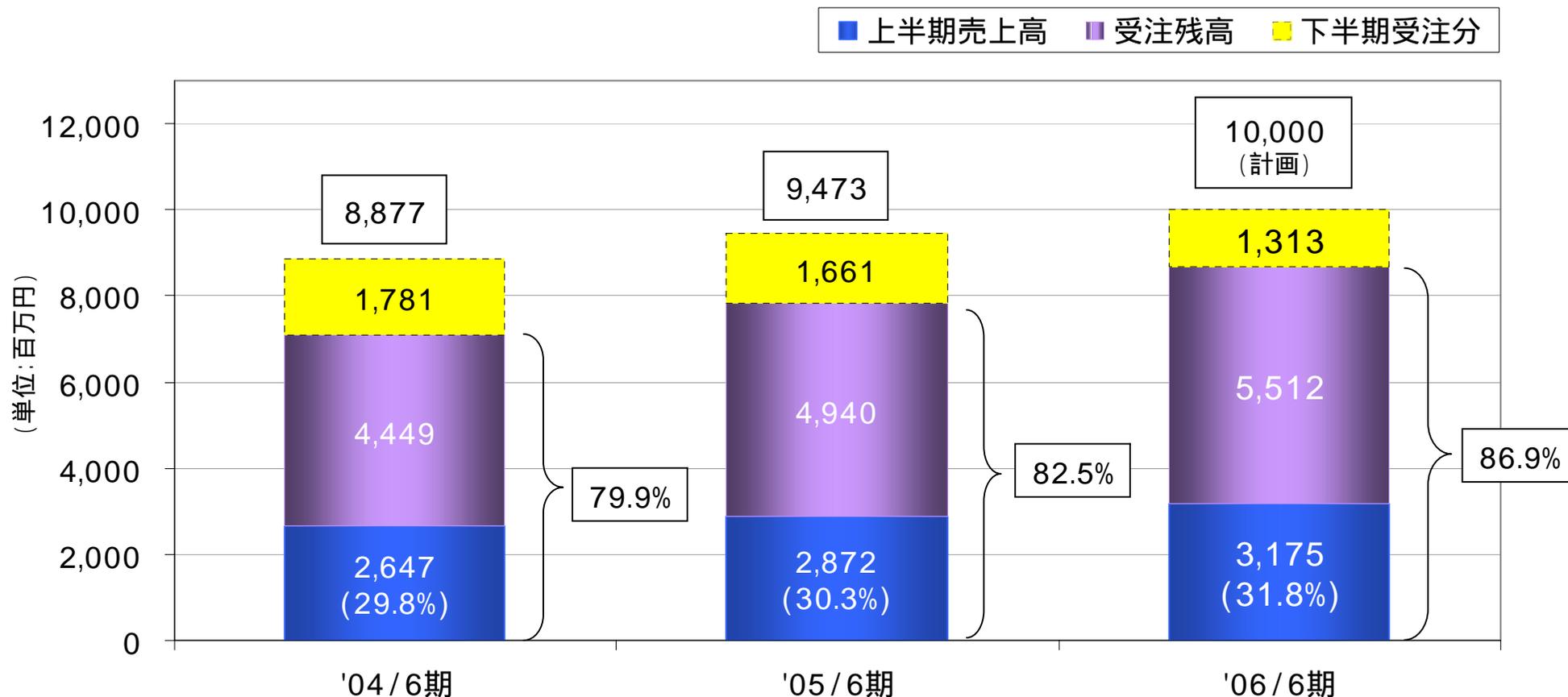
受注残高の状況

単位:百万円

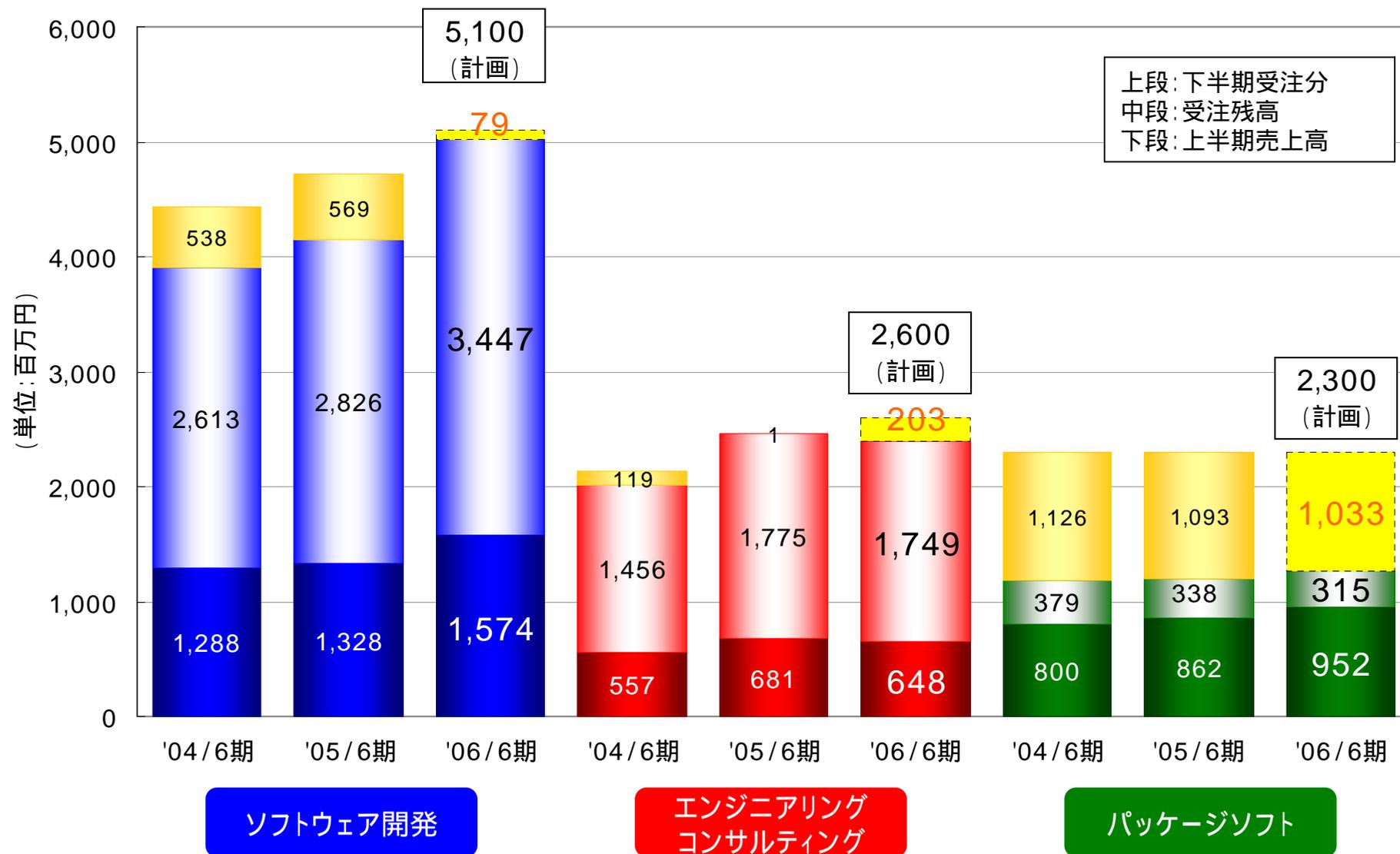
	'04/6期中間	'05/6期中間	'06/6期中間	対前年同期増減額 (増減率)
期首受注残高 ()	2,535	2,845	3,404	559 (19.7%)
上半期受注高 ()	4,561	4,967	5,282	315 (6.4%)
上半期売上高 ()	2,647	2,872	3,175	303 (10.6%)
中間期末受注残高 (+ -)	4,449	4,940	5,512	571 (11.6%)

経営成績の上半期・下半期構成比(売上高)

成果品の引渡しは、顧客企業の多くが決算期を迎える3月末から6月末に集中する傾向があることから、売上高は上半期に比較して下半期の割合が高くなる傾向にあります。
とはいうものの、受注早期化により売上計画達成度は年々高まっております。

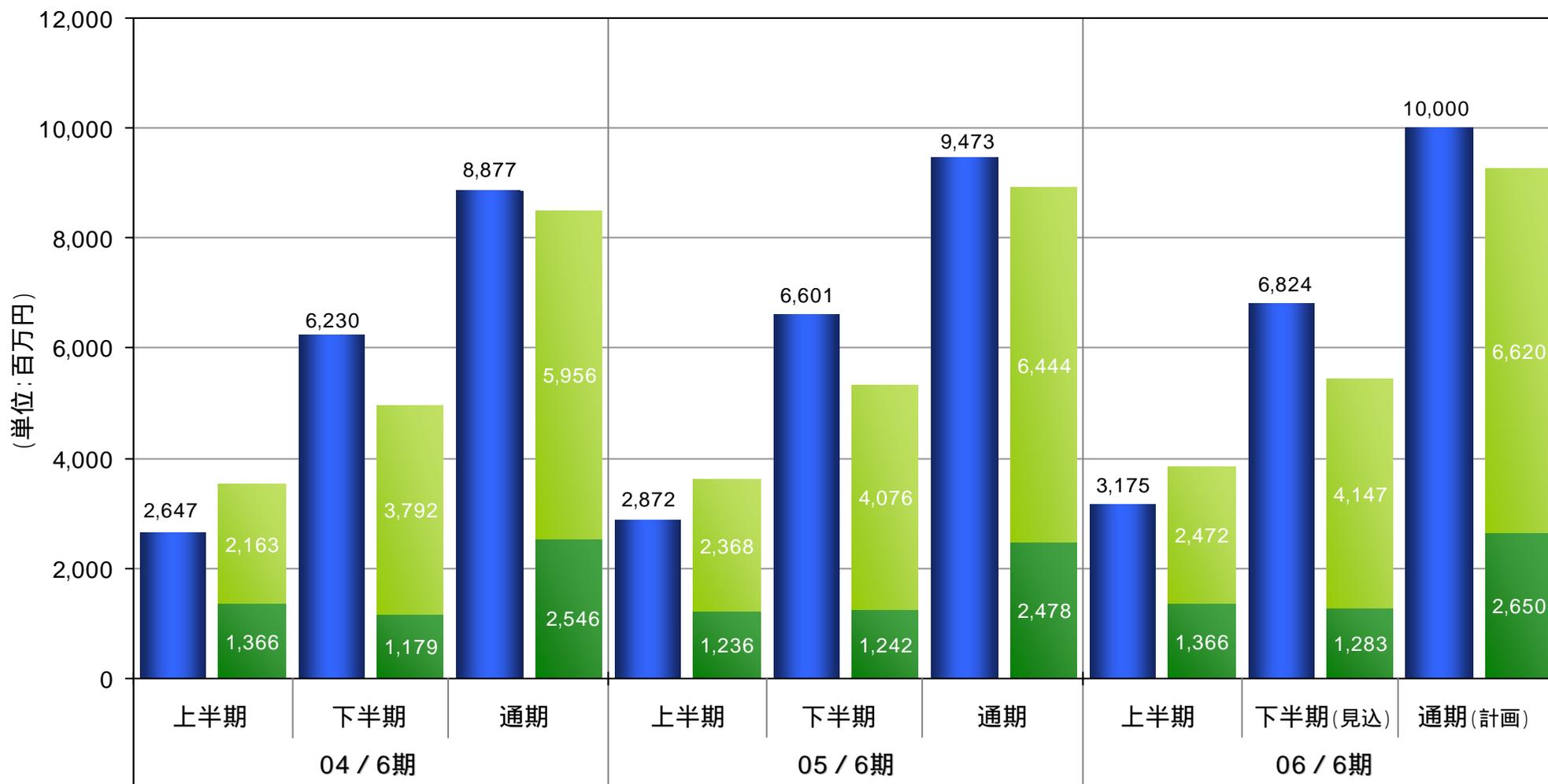


経営成績の上半期・下半期構成比(セグメント別 売上高)

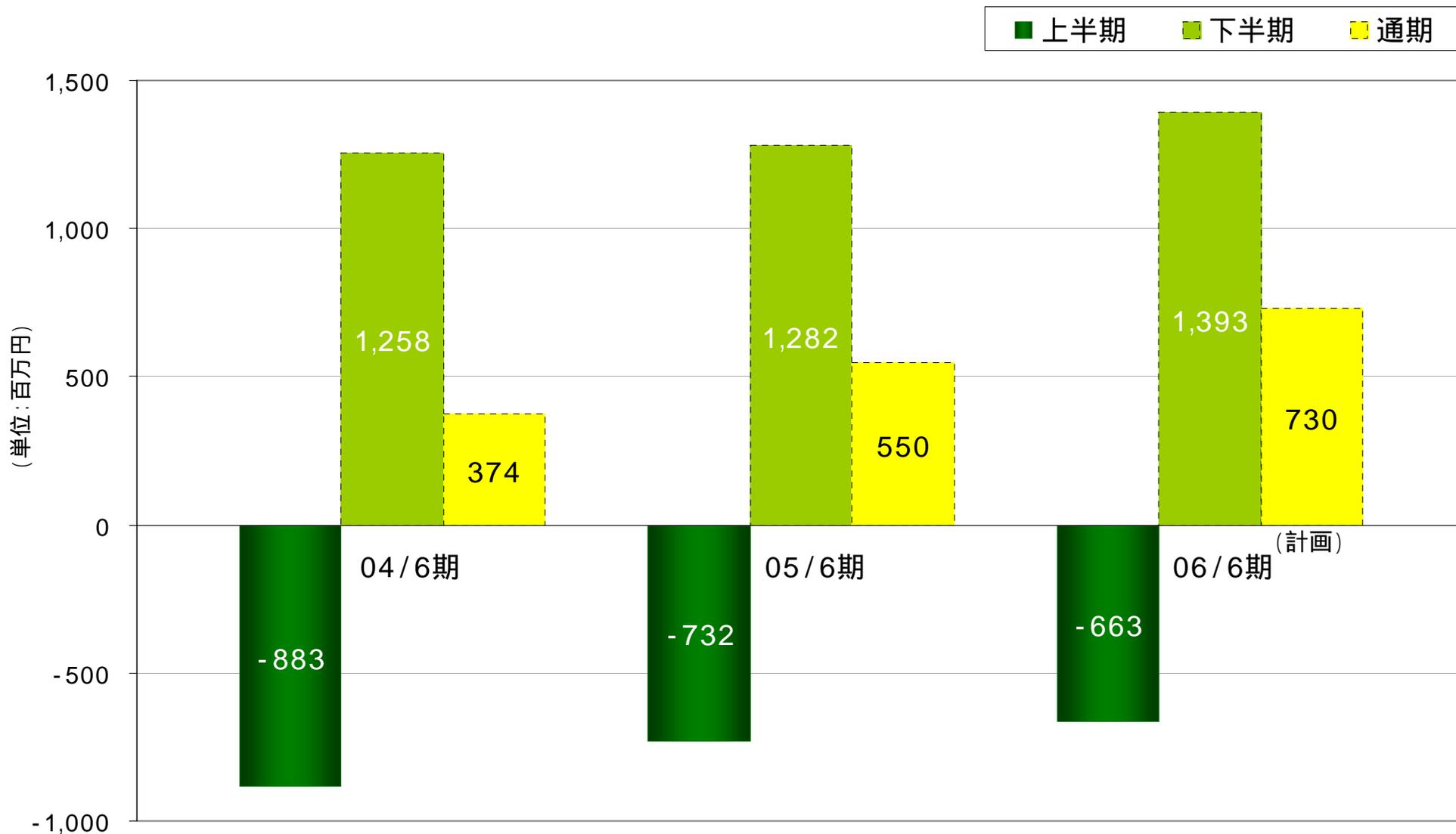


上半期・下半期の業績推移

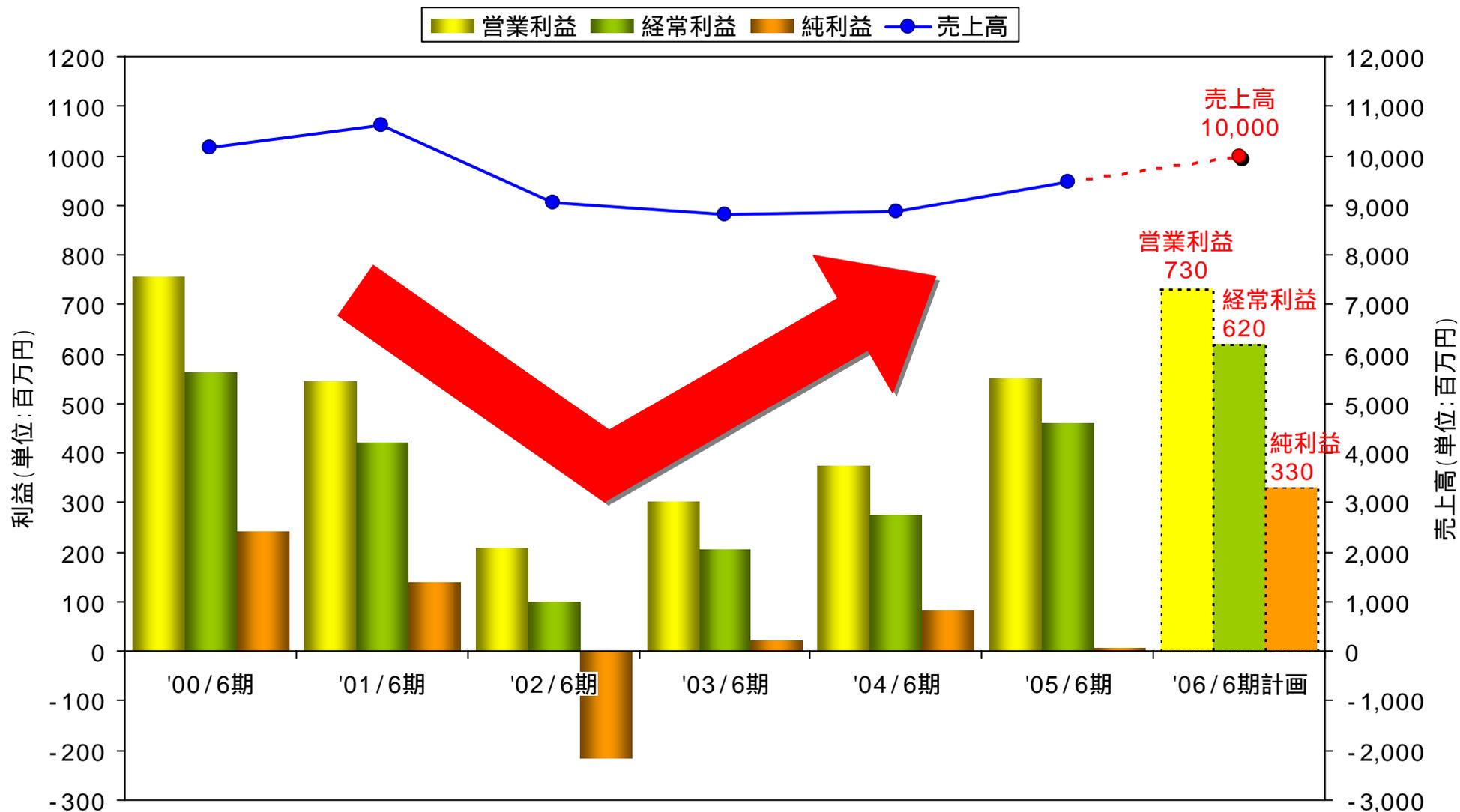
■ 売上高 ■ 販売管理費 ■ 売上原価



経営成績の上半期・下半期構成比(営業利益)



株式公開以降の業績推移（通期）



4 . 財務諸表

比較貸借対照表

単位：百万円

	'04/6期中間	'05/6期中間	'06/6期中間	対前年同期増減額
流動資産	4,518	4,123	3,839	284
現金・預金	1,078	997	296	701
売上債権	1,095	994	1,231	237
固定資産	6,744	6,709	6,971	262
資産合計	11,262	10,832	10,810	21
流動負債	4,422	4,300	4,468	167
短期借入金	3,305	3,182	3,095	87
固定負債	4,352	3,910	3,661	249
長期借入金	3,781	3,178	2,613	565
負債合計	8,774	8,211	8,129	82
資本合計	2,487	2,621	2,681	60
負債・資本合計	11,262	10,832	10,810	21

「一年以内に返済予定の長期借入金」は短期借入金に含めて計算しております。

比較損益計算書

単位：百万円

	'04/6期中間	'05/6期中間	'06/6期中間	対前年同期増減額 (増減率)
売上高	2,647	2,872	3,175	303 (10.6%)
売上原価	2,163	2,368	2,472	104 (4.4%)
売上総利益	483	504	702	198 (39.3%)
販売管理費	1,366	1,236	1,366	129 (10.5%)
営業利益	883	732	663	68 (-)

主な製造原価

外注費	283	340	595	255
労務費	1,088	1,052	906	146
仕入・ロイヤリティ	304	364	400	36

キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

	中 間			期 末		
	'05/6期	'06/6期	対前年同期増減額	'05/6期	'06/6期 (予想)	対前年同期増減額(予想)
期首残高	583	303	280	583	303	280
営業活動 C F	956	1,148	191	621	700	79
投資活動 C F	12	106	118	320	200	120
財務活動 C F	1,357	1,246	110	581	400	181
期末残高	997	296	701	303	403	100

5. セグメント別実績

セグメントの状況

単位: 百万円

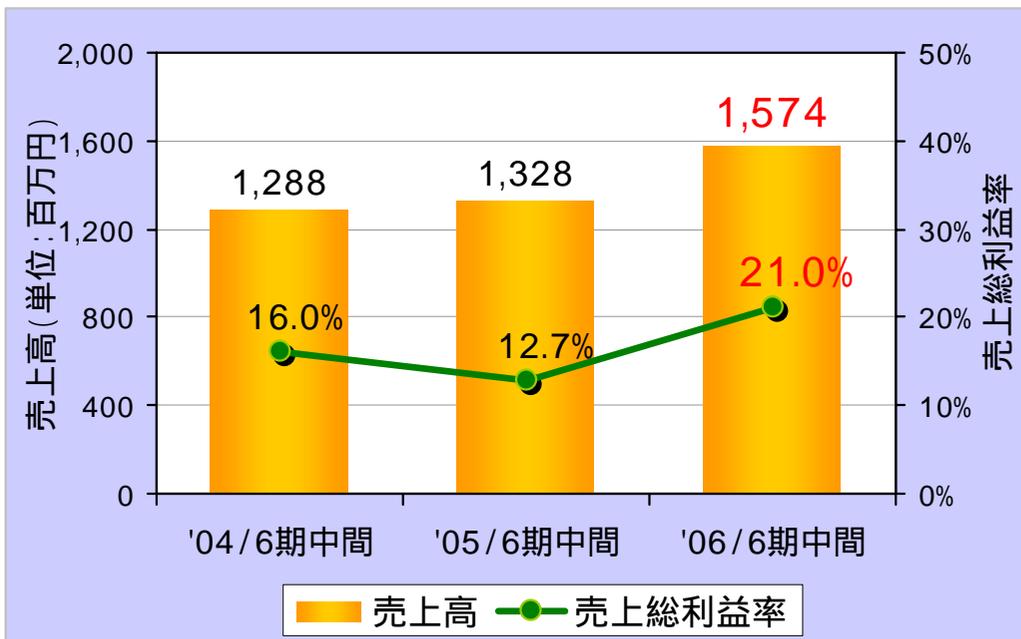
区 分	ソフトウェア開発	エンジニアリング コンサルティング	パッケージソフト	合 計
売上高	1,574	648	952	3,175
売上原価	1,244	568	875	2,689
売上総利益 (利益率)	330 (21.0%)	79 (12.2%)	77 (8.1%)	486 (15.3%)

パッケージソフトの売上原価には、販売部門の販売費を加算しております。

セグメント ソフトウェア開発

単位:百万円

	'04/6期中間	'05/6期中間	'06/6期中間
売上高	1,288	1,328	1,574
売上原価	1,082	1,159	1,244
売上総利益 (利益率)	206 (16.0%)	169 (12.7%)	330 (21.0%)



- ❖ 移动通信・モバイル・ネットワーク通信
- ❖ 製造業向け営業・設計支援システム
- ❖ 建設系ソフトウェア
- ❖ マルチメディア

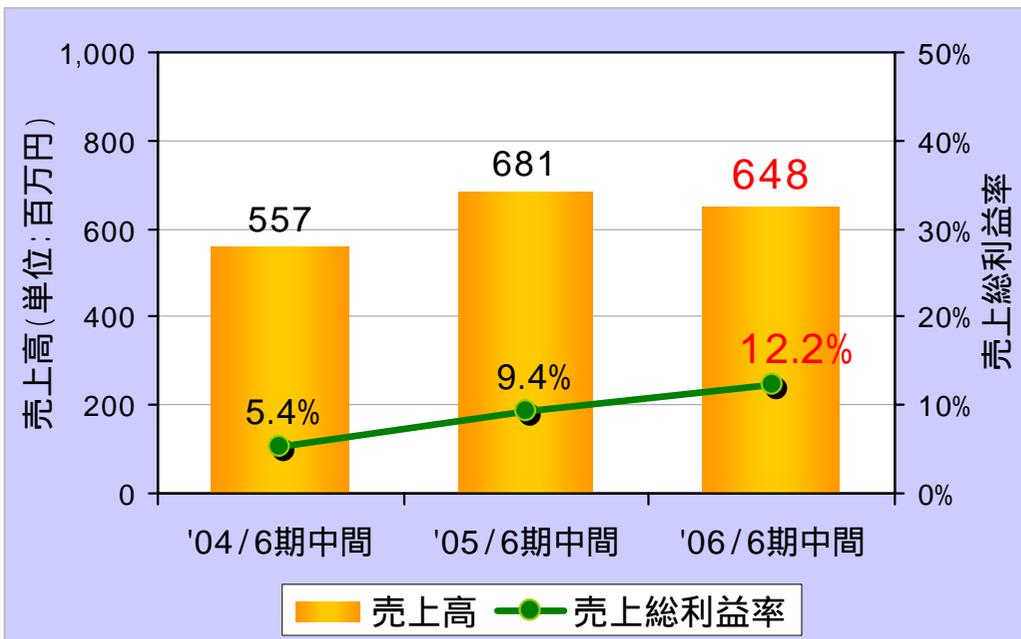
➤ 情報通信系業務は好調に推移し、上半期売上が大幅に増加。

➤ 建設系や製造業向け営業・設計支援システムも受注は増加しているが、契約納期が下半期に集中しているため上半期の売上には寄与していない。

セグメント エンジニアリングコンサルティング

単位:百万円

	'04/6期中間	'05/6期中間	'06/6期中間
売上高	557	681	648
売上原価	527	617	568
売上総利益 (利益率)	29 (5.4%)	64 (9.4%)	79 (12.2%)



- ❖ 防災・耐震・数値解析
- ❖ 建築構造設計
- ❖ マーケティング・意思決定支援コンサル
- ❖ 製造・物流系ソリューション

➤ 新規事業展開ならびに一部業務の撤退によるサービス内容の戦略的組み換えを進めており、セグメント全体の売上高は前年同期比5%減であるが、継続業務においては前年同期比6%増。

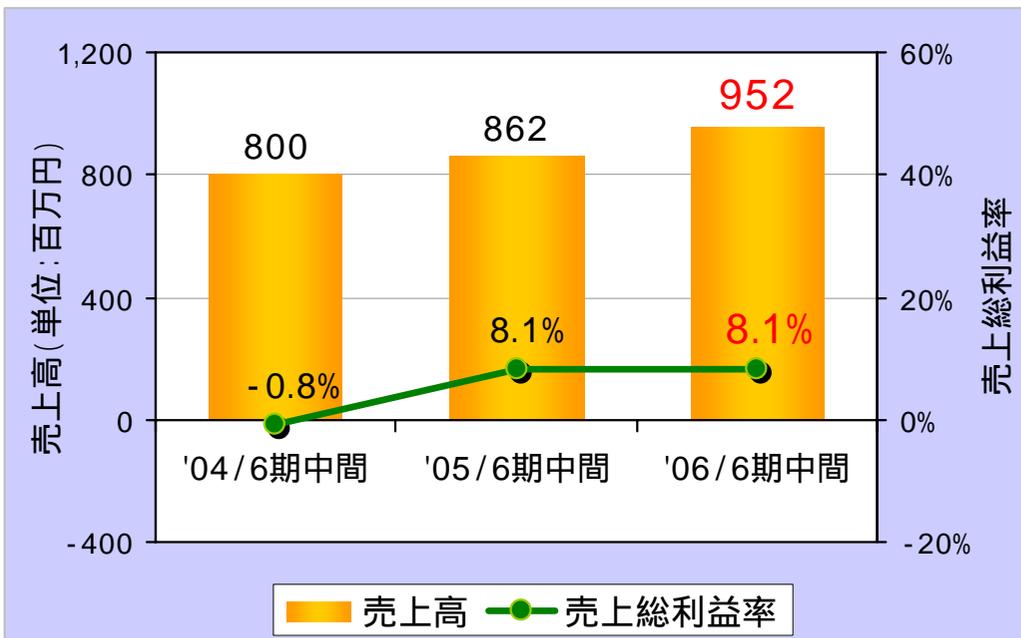
➤ 建設系以外のコンサルティングが増大。

セグメント パッケージソフト

単位:百万円

	'04/6期中間	'05/6期中間	'06/6期中間
売上高	800	862	952
売上原価	807	792	875
売上総利益 (利益率)	6 (0.8%)	70 (8.1%)	77 (8.1%)

パッケージソフトの売上原価には、販売部門の販売費を加算しております。



- ❖ 設計者向けCAEソフト
- ❖ 構造解析・耐震検討パッケージソフト
- ❖ 建築・土木CADパッケージソフト
- ❖ マーケティング・意思決定支援ソフト
- ❖ 電波伝搬解析ソフト

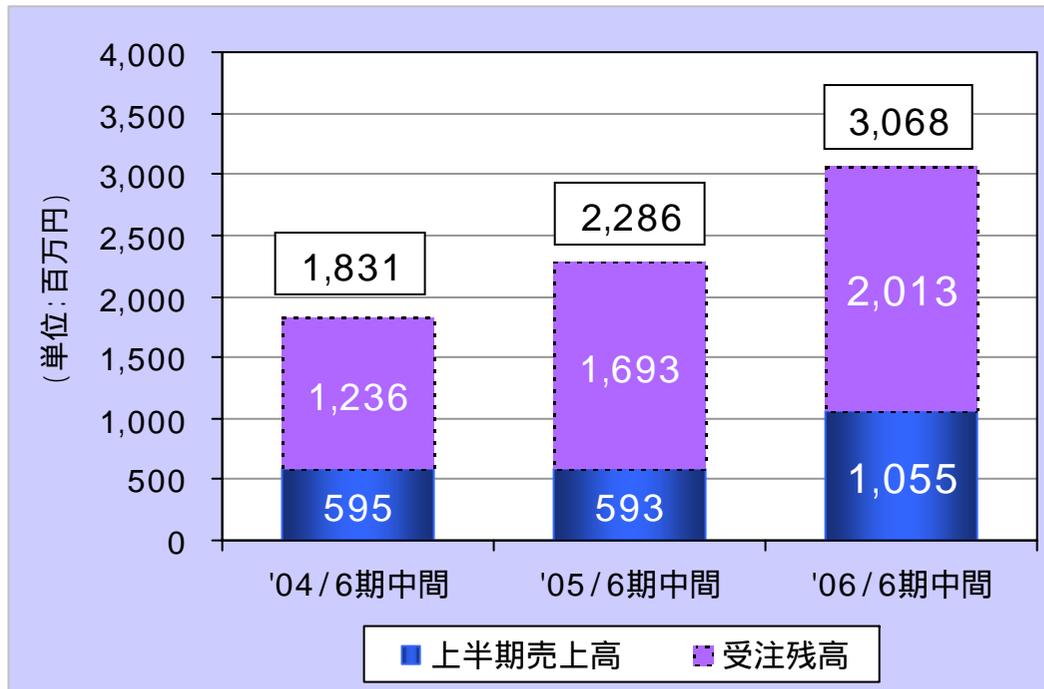
➤ 電波伝搬解析ツール(RapLab)、ネットワークシミュレータ(QualNet)、統計解析ソフトウェア(Minitab)などの新規投入商品が寄与し始めた。

6. 重点ビジネステーマ

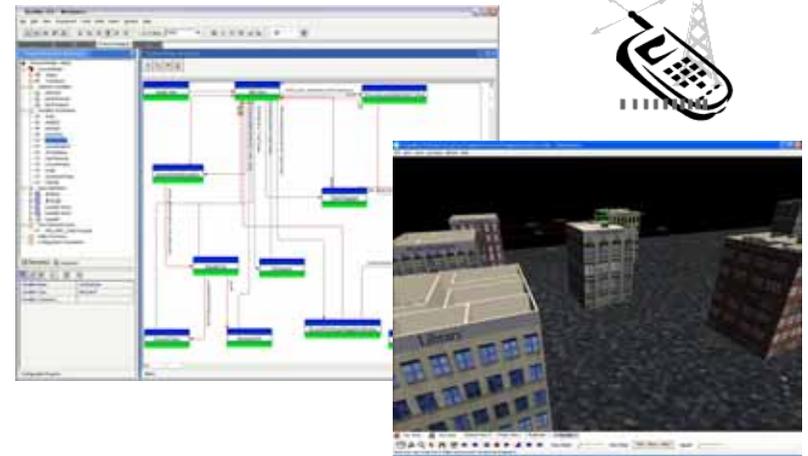
[重点ビジネステーマ] 通信関連ビジネス

単位:百万円

	'04/6期中間	'05/6期中間	'06/6期中間
上半期受注高	1,420	1,440	1,929
上半期売上高	595	593	1,055
中間期末 受注残高	1,236	1,693	2,013



QualNet 高速・高精度ネットワークシミュレータ



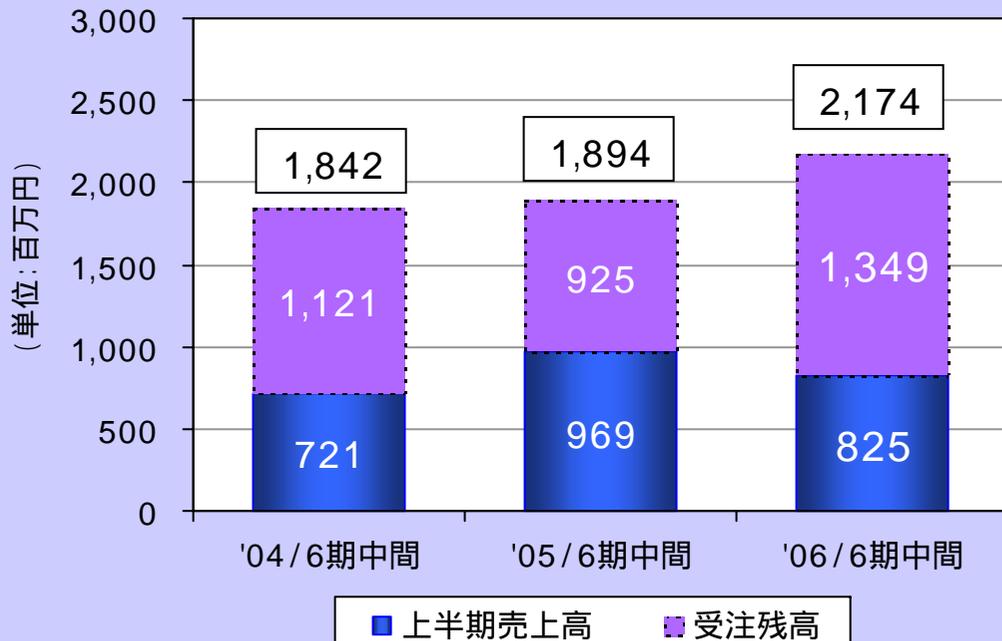
VELOCE バスロケーション・システム



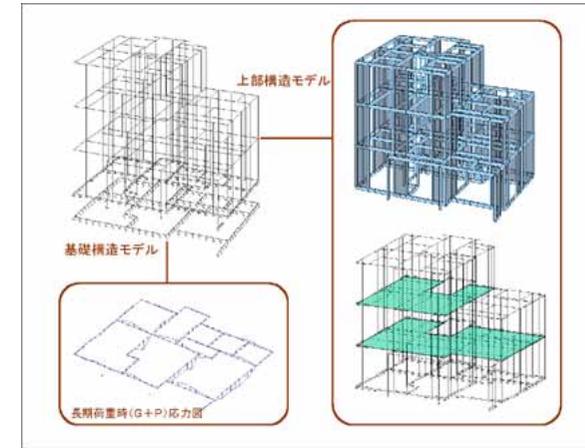
[重点ビジネステーマ] 製造業関連ビジネス

単位:百万円

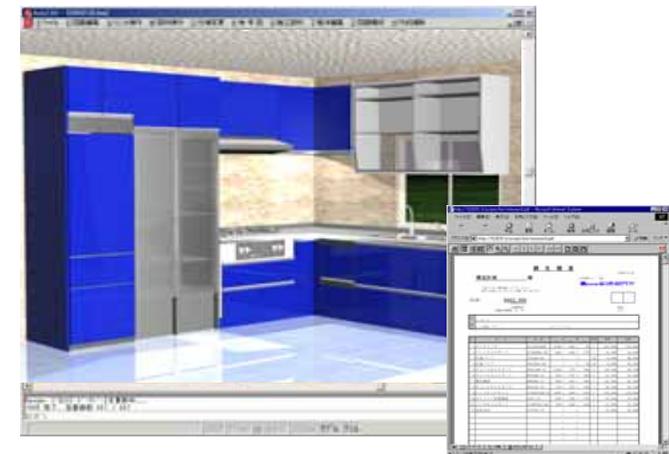
	'04/6期中間	'05/6期中間	'06/6期中間
上半期受注高	1,294	1,328	1,286
上半期売上高	721	969	825
中間期末受注残高	1,121	925	1,349



戸建住宅構造設計システム



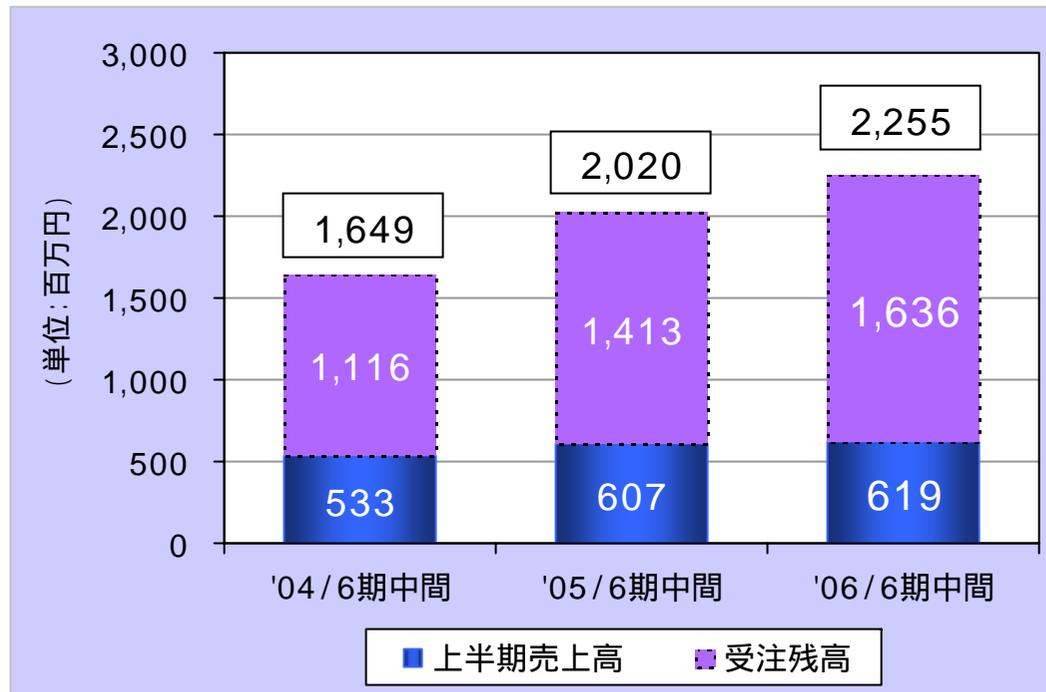
製造業向け営業支援システム



[重点ビジネステーマ] 構造設計・防災関連ビジネス

単位:百万円

	'04/6期中間	'05/6期中間	'06/6期中間
上半期受注高	847	1,221	1,200
上半期売上高	533	607	619
中間期末受注残高	1,116	1,413	1,636

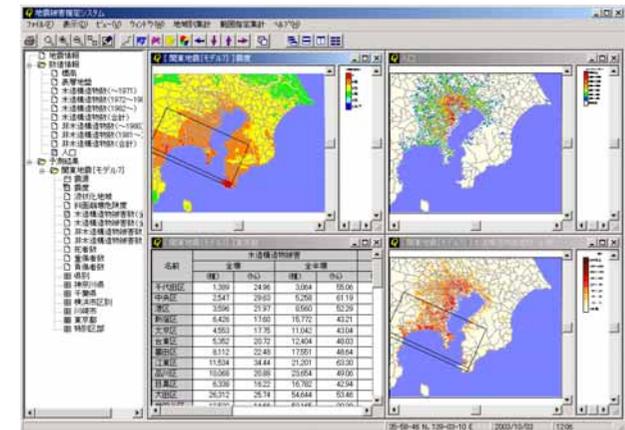


上海環球金融中心
 延床面積: 377,300m²
 規模: 地上101階 / 地下3階

用途: 事務所 ホテル 店舗



地震被害推定システム



厚木市ふれあいプラザ設計瑕疵問題の最終合意について

■ 問題発生の際緯

昨年12月、当社が昭和62年から平成2年にかけて設計監理を実施した厚木市ふれあいプラザにおいて、当社の設計瑕疵に起因する耐震性能不足が判明。当時の品質確保体制が不完全であったことが原因と判断。

同時期に設計した他の物件についても、再調査を実施したが、問題がないことを確認済み。現在は設計品質の管理を徹底しており再発の恐れはない。

市民の安全を最優先に考えると、大地震による被害が生じる前に耐震補強が必要であったため、当社の費用負担で早急に補強工事を実施した。

■ 業績への影響

2005年12月20日、下記内容で厚木市と最終合意。
建築家賠償責任保険の最終的な保険金額が確定した。

当社の2006年度6月期の業績予想と乖離が生じるような影響はない。

耐震強度偽装事件が当社今期業績に及ぼす影響について

■ 当社のスタンス

大学、研究機関と実業界とのブリッジを経営理念とする当社は、創業以来培ってきた構造設計業務のリーディングエッジに位置する事務所であると自負しており、構造設計のプロフェッショナルとして誠実かつ真摯に信頼に値する業務を遂行することで社会貢献を果たす。

■ 今期業績への影響

・レビュー業務や補強設計の需要増について

再計算などの構造設計のレビュー業務や耐震補強設計業務の受託要請急増。ただし、右図に示す通り、当社における構造設計関連業務の割合は全体の1割に過ぎず、人員に限りがある。信頼に値する構造設計業務には、高い専門性と経験知が要求されるため、品質の確保面からも安易な人員増による一時的な業績向上は志向していない。

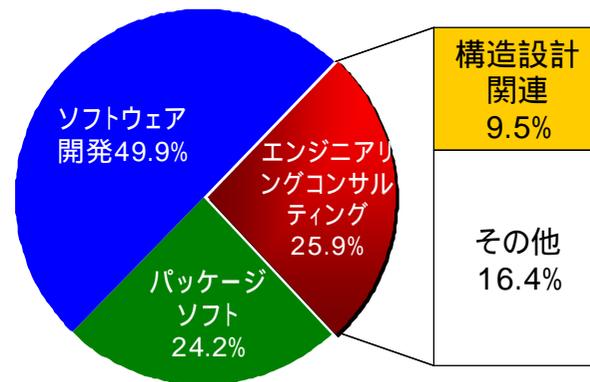
よって、当該需要が当社の今期業績を大幅に向上させることは無いが、

今回の事件で構造安全性を重要視する社会環境が醸成され、当社への信頼感も向上したこと自体を息の長い追い風ととらえている。免震設計など付加価値の高い技術の戦略的営業を活性化するなど、長期スパンでの着実かつ安定した業績向上を目指す。

・平成設計倒産にともなう売掛債権について

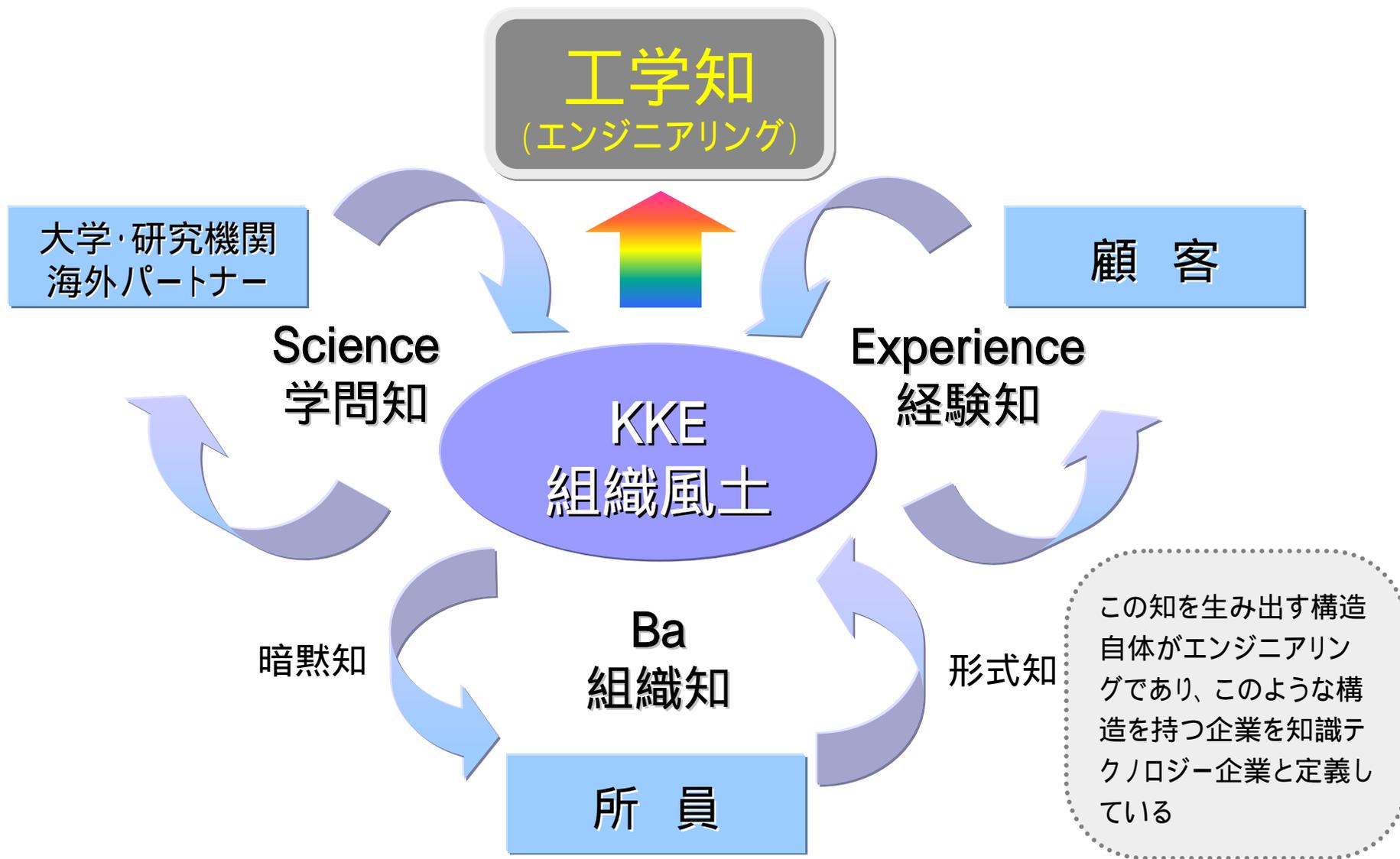
当中間期で処理済み。

売上構成比(2005年6月期実績)



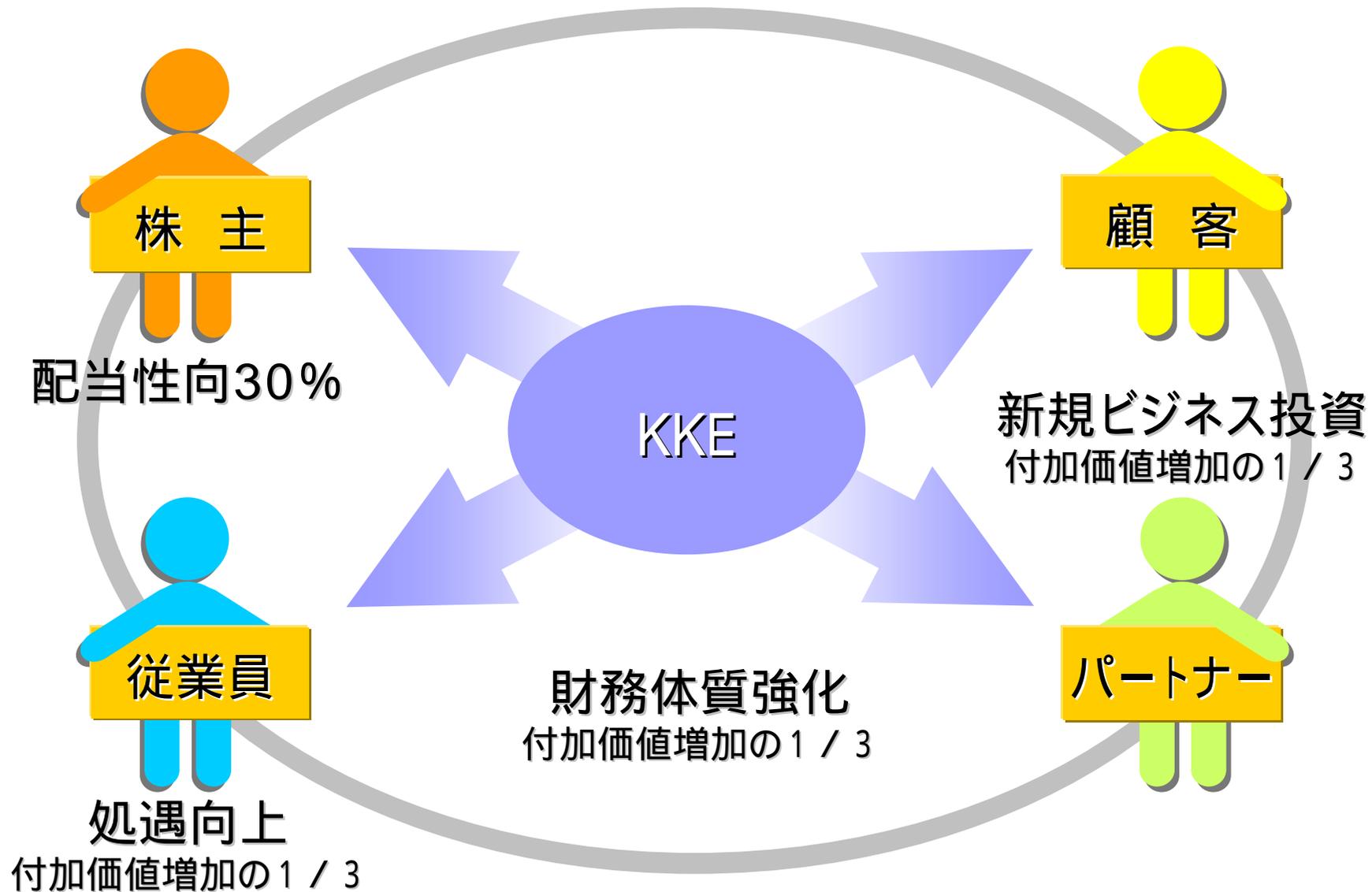
7. マネジメントの指針

構造計画研究所の知をめぐる構造



- 対価は提供する「知」の価値に対する評価
 - ・ 労働集約型ビジネスの否定
- 組織として蓄積・利用が可能
 - ・ 特定の個人に依存しない組織知
- 経験を通して常に進化
 - ・ 同種のニーズを持つ顧客との仕事を通じた洗練化
 - ・ 成功も失敗も次回への糧と出来るような企業風土

各ステークホルダーへのコミットメント



◆ 従業員一人あたり付加価値UP
..... 10%/年

◆ 増員による規模の拡大
..... 5~10%/年

◆ 新規事業・投資による収益増大
..... 10%/年

付加価値総額
10~15%UP/年

8 . 建物、人、安全に関する ソリューション



Keyword 安全性・資産価値 (一部抜粋)

耐震・制震・免震・設計、監理、技術コンサル

構造解析

耐震診断

耐震、制震、免震補強設計

地盤の液状化検討、斜面安定検討

エンジニアリング・レポート

戸建て住宅 構造設計システム

FM(ファシリティマネジメント)システム

PM(プロジェクトマネジメント)コンサル

居住性評価

不動産財務分析システム



耐震・制震・免震・設計、監理、技術コンサルティング

耐震構造

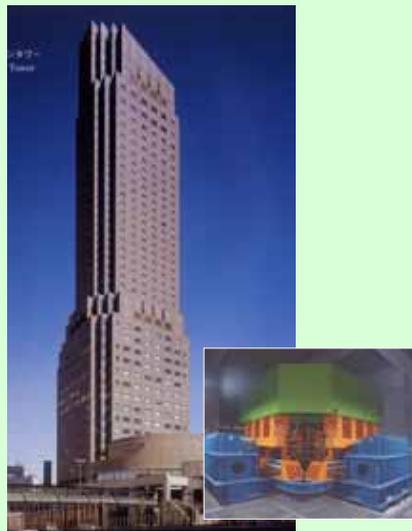


ホテルオークラ神戸



東京高等地方簡易裁判所

制震構造



セルリアンタワー東急ホテル



六本木ヒルズ森タワー



愛宕グリーンヒルズ



構造計画研究所

免震構造

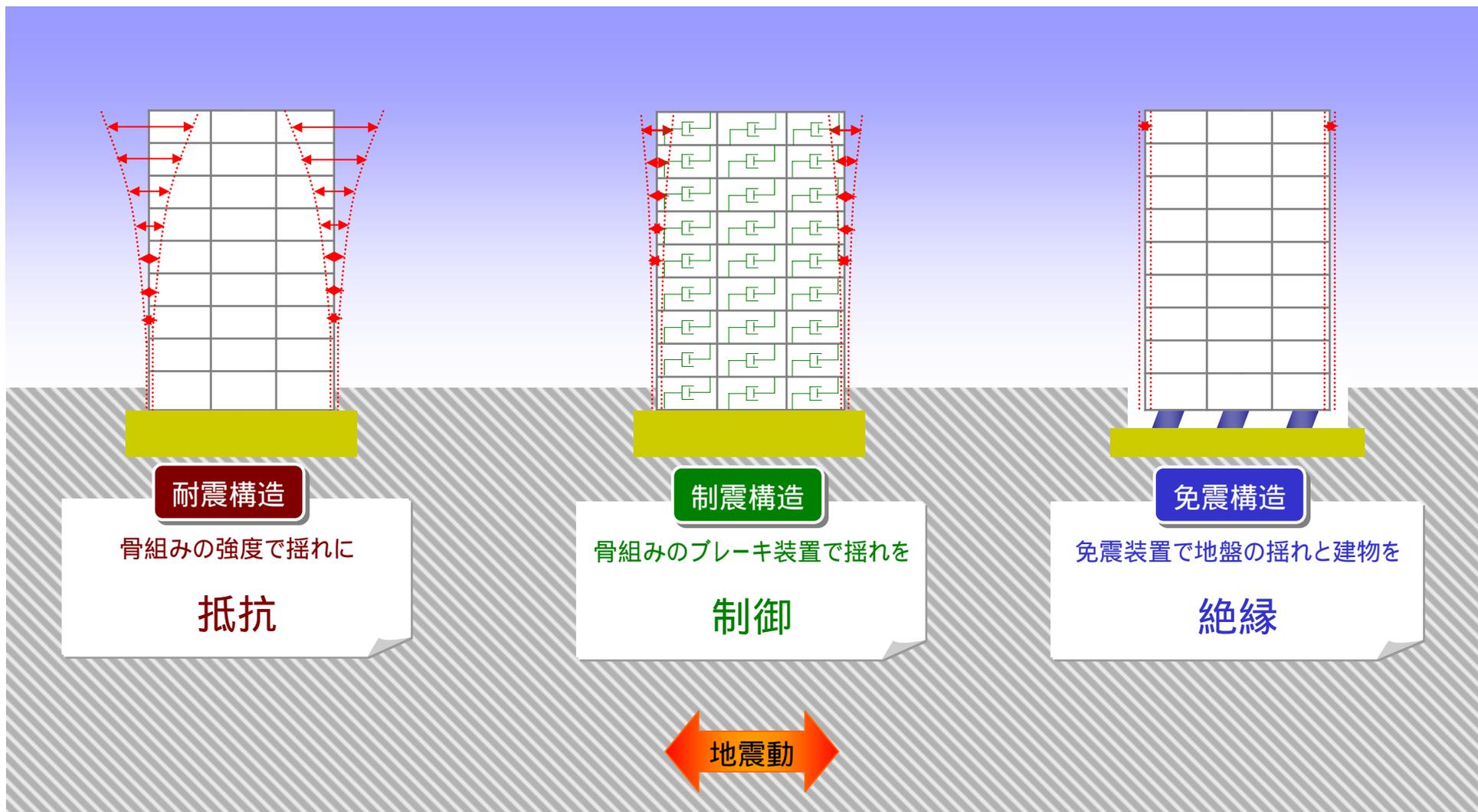


福岡県内集合住宅



京葉ガス新監視指令センター

地震被害低減のための各種技術

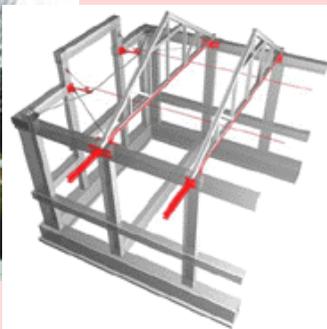


耐震、制震、免震補強設計

耐震補強



立教大学 第一食堂
(BELCA賞受賞)



日本工業大学 学舎



熊本城

制震補強



会津田島合同庁舎

免震補強

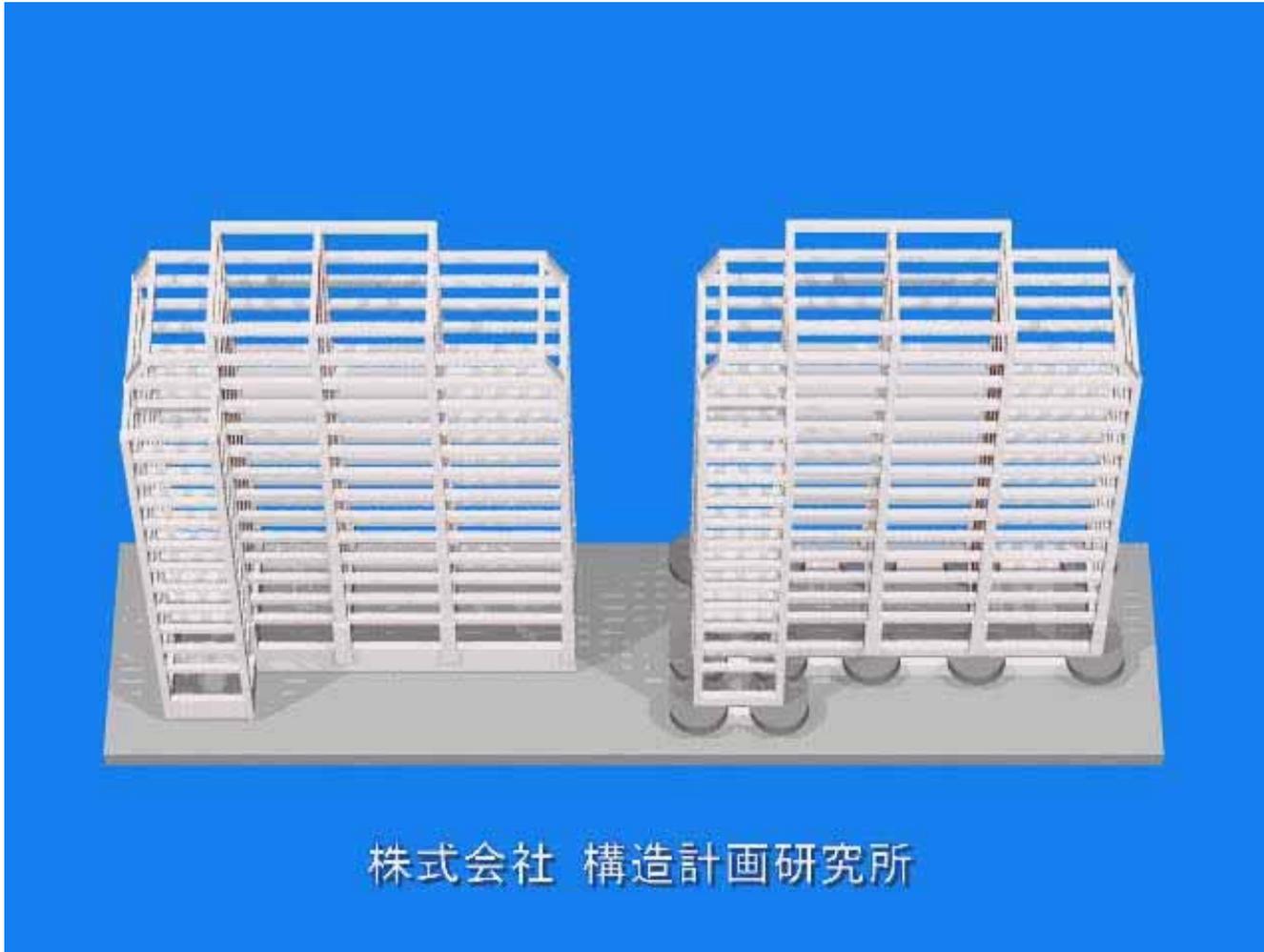


日本郵政公社 九段北宿舎
(免震レトロフィット)

免震化比較

2005年3月福岡県西方沖地震（福岡観測所のK-net地震記録を入力）

耐震構造



免震構造

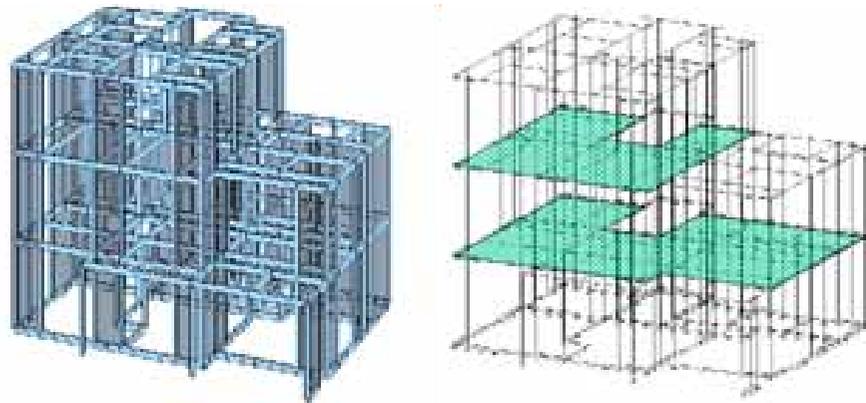
株式会社 構造計画研究所

NHK特番にて放映

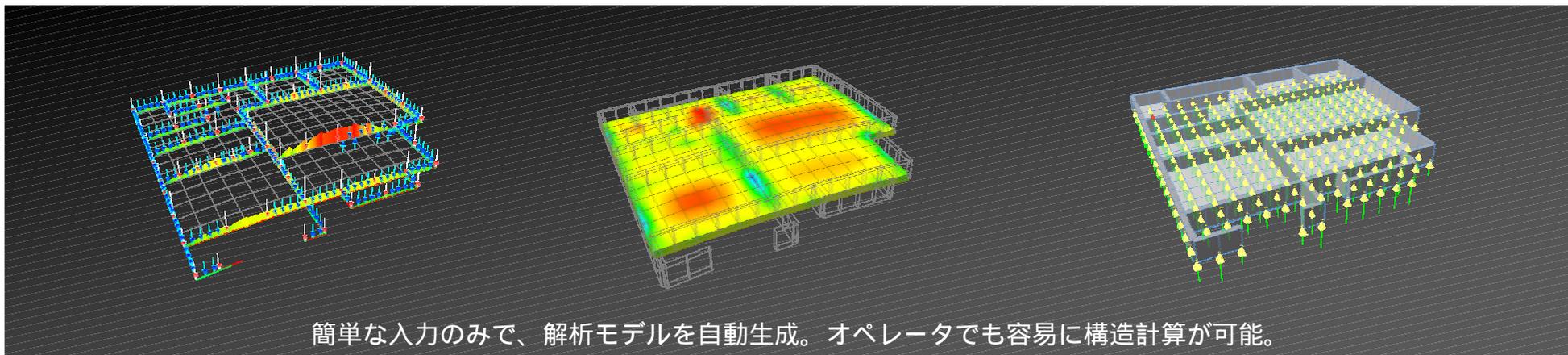
戸建て住宅 構造設計システムの開発

「リビングを広く、光を取り入れる窓は大きく・・・」
マイホームを建てられるお客様の様々な期待に応えるために、高層建築で培った構造設計技術を住宅という視点に置き換え、戸建て住宅の構造設計システムの開発を古くから手がけています。
安全性を確保しながらも、空間を広くとるために、どのように梁(はり)や柱を配置するか、どのくらいの太さが必要か...快適な住空間の実現にむけ、構造設計という目に見えない部分のシステム開発を通して取り組んでいます。

3次元立体解析モデルによる木造住宅構造計算システム



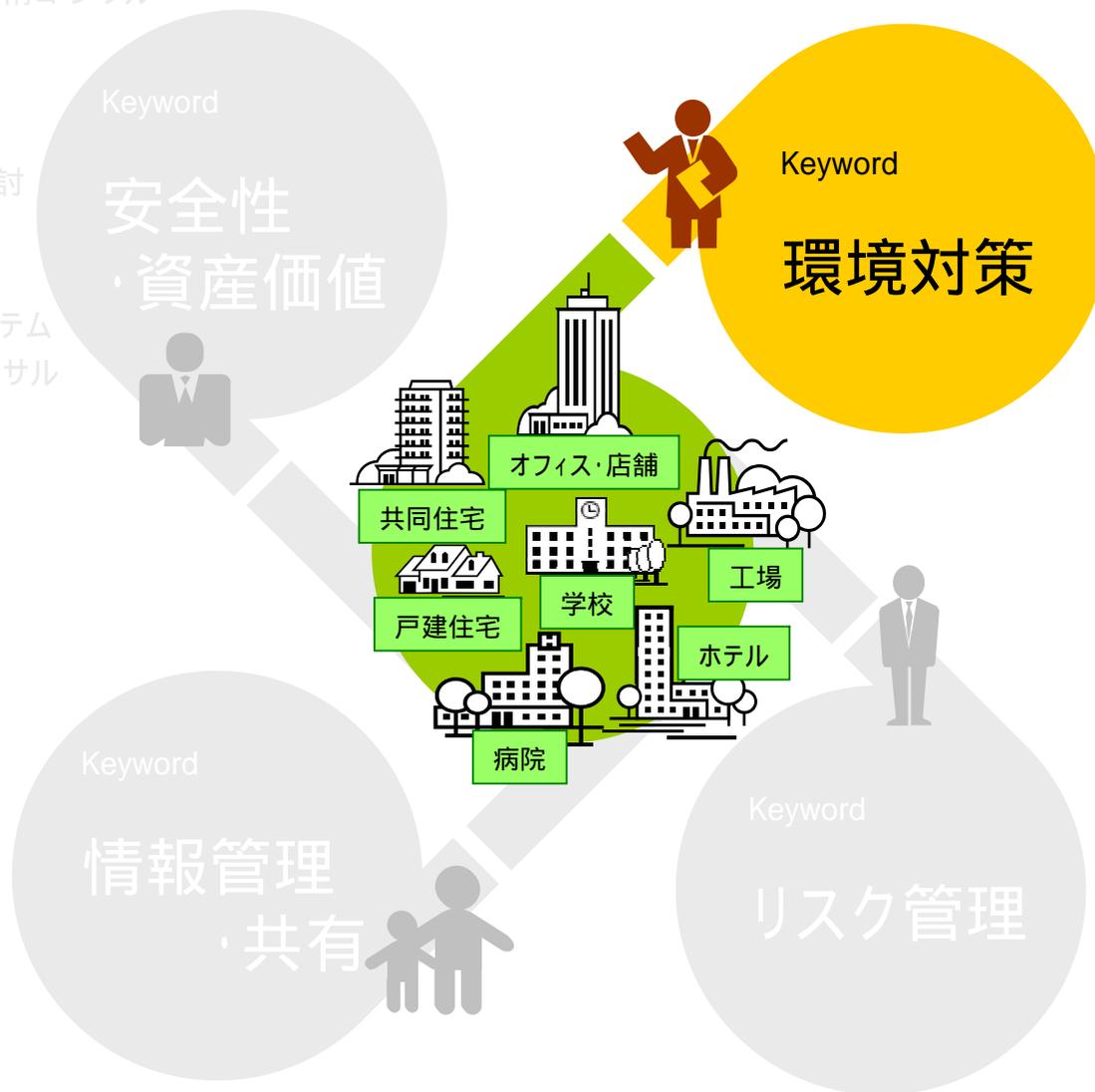
FEMを用いた住宅基礎専用構造計算システム



簡単な入力のみで、解析モデルを自動生成。オペレータでも容易に構造計算が可能。

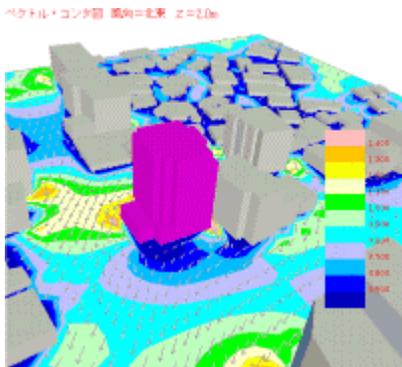
Keyword 環境対策 (一部抜粋)

耐震・制震・免震・設計、監理、技術コンサル
構造解析
耐震診断
耐震、制振(震)、免震補強設計
地盤の液化化検討、斜面安定検討
エンジニアリング・レポート
戸建て住宅 構造設計システム
FM(ファシリティマネジメント)システム
PM(プロジェクトマネジメント)コンサル
居住性評価
不動産財務分析システム



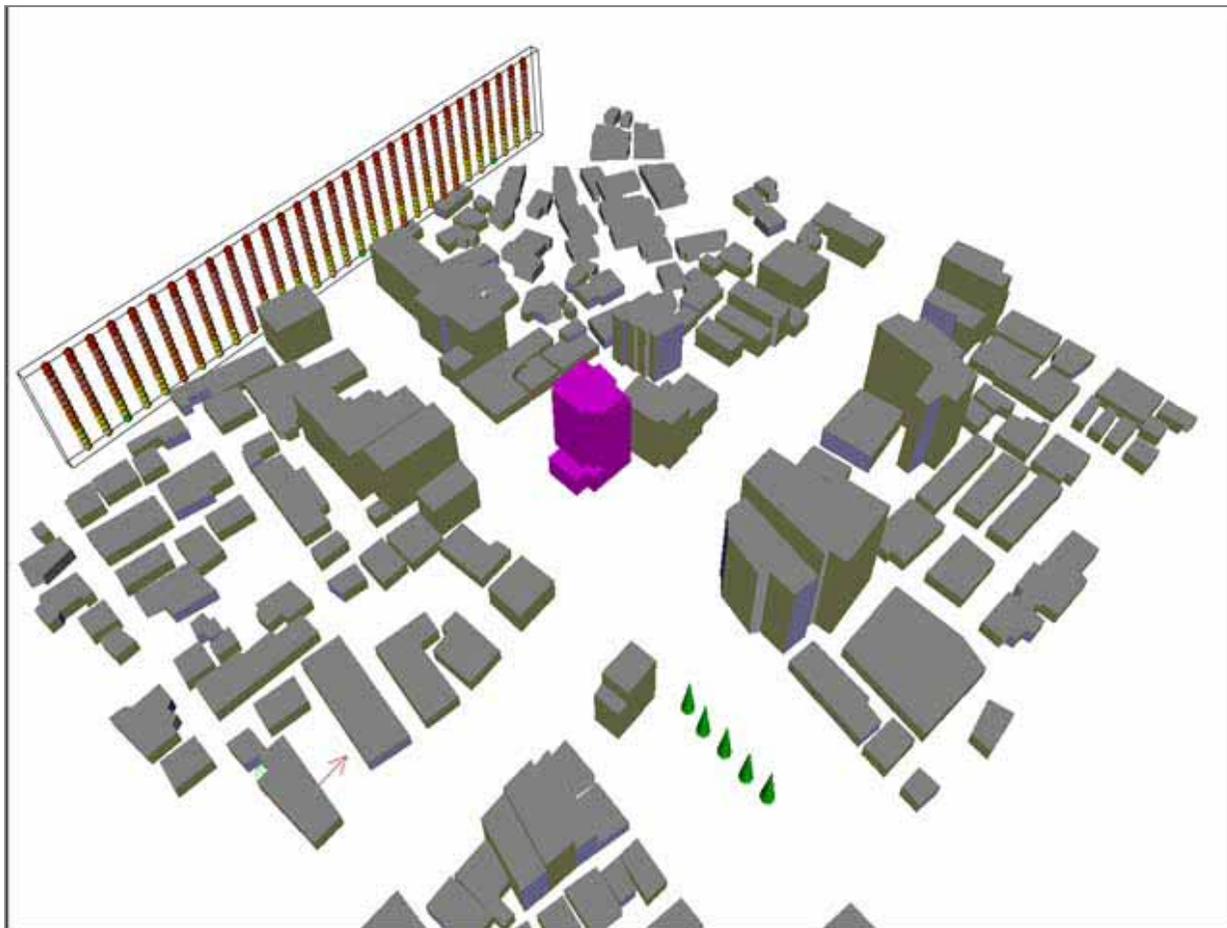
ビル風・風環境評価解析
大気質評価
水環境評価
振動評価
音環境評価
室内気流・温熱環境評価
視環境(色彩・照明)評価
電波・通信環境評価
屋上・壁面緑化

ビル風・風環境評価

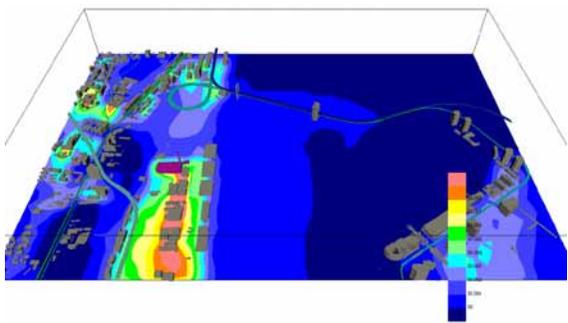


WIND Design
風速ベクトル+等風速線図

近年、市街地に大規模かつ複雑な建築物が数多く建設されるに伴い、建物と周辺環境との調和がますます重要なテーマになってきております。特に再開発建物では、建物建設が周辺の風環境に及ぼす影響(いわゆるビル風問題)を事前検討しなければならないケースが増加しています。

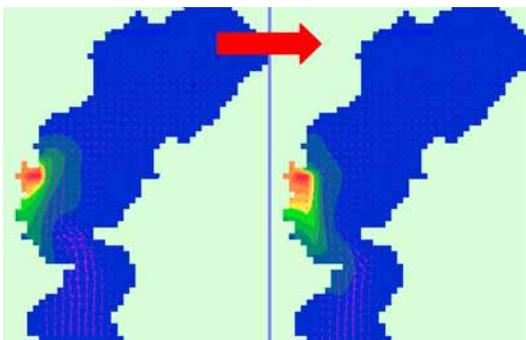


街区の温熱環境評価



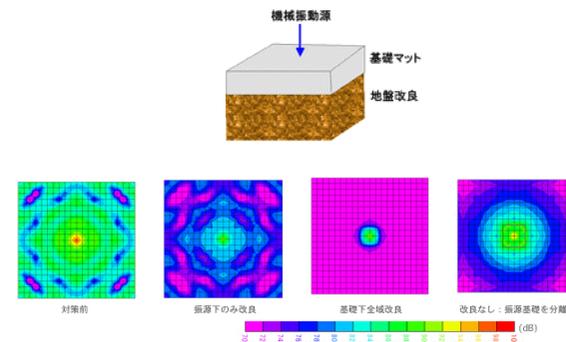
建物からの排熱による温度分布

水環境評価



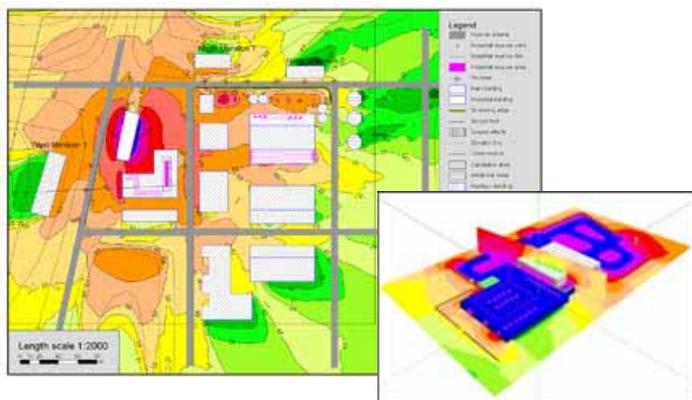
「東京湾の流況・水質」
潮流による濃度分布の時間変化

環境振動評価



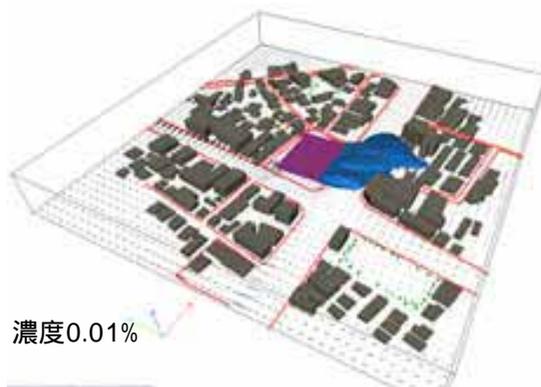
大型機器稼動時の
工場基礎内での振動伝播予測と対策

音環境評価



音圧レベルのコンタ

大気質環境評価



臭気の拡散シミュレーション

視環境評価、感性比較評価支援

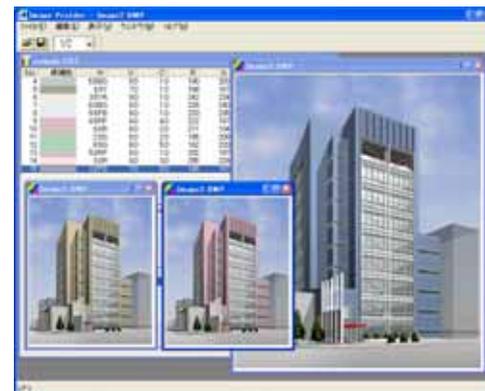


Image Profiler

Keyword リスク管理 (一部抜粋)

耐震・制震・免震・設計、監理、技術コンサル
構造解析
耐震診断
耐震、制震、免震補強設計
地盤の液化化検討、斜面安定検討
エンジニアリング・レポート
戸建て住宅 構造設計システム
FM(ファシリティマネジメント)システム
PM(プロジェクトマネジメント)コンサル
居住性評価
不動産財務分析システム

Keyword
安全性
・資産価値

Keyword
環境対策

Keyword
情報管理
・共有

Keyword
リスク管理



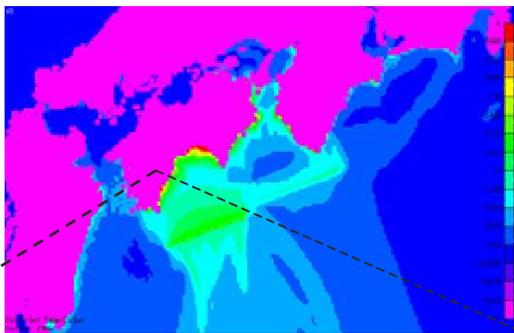
ビル風・風環境評価解析
大気質評価
水環境評価
振動評価
音環境評価
室内気流・温熱環境評価
視環境(色彩・照明)評価
電波・通信環境評価
屋上・壁面緑化

地震動評価
地震被害想定
津波被害予測
事業継続計画(BCP)策定
地震リスク評価による補強設計、
優先順位評価
リスク分析/意思決定支援
防災マニュアル策定
リアルタイム被害収集システム
避難計画・シミュレーション
防犯監視システム

津波被害予測 / 避難計画

津波シミュレーション

南海地震想定



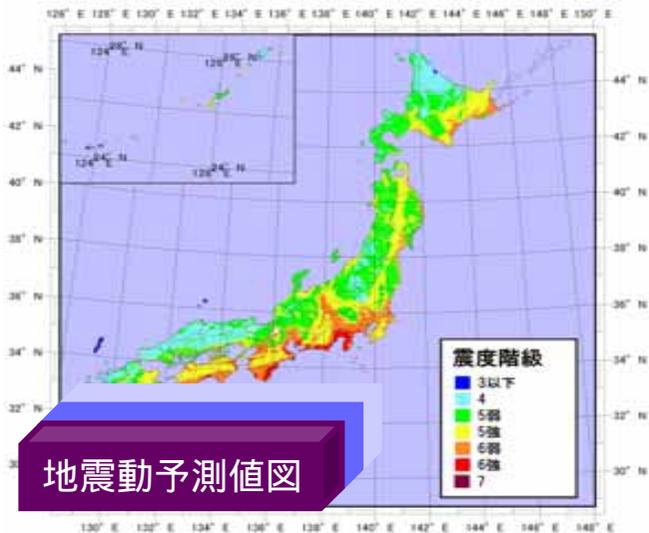
地震の頻発に対する意識の高まりとともに、大きな被害をもたらす津波が及ぼす影響をあらかじめ検討することが非常に重要になってきました。

津波災害時の避難等に用いられる津波ハザードマップや、避難計画の策定を求められることが多くなってきております。



津波避難計画シミュレーション

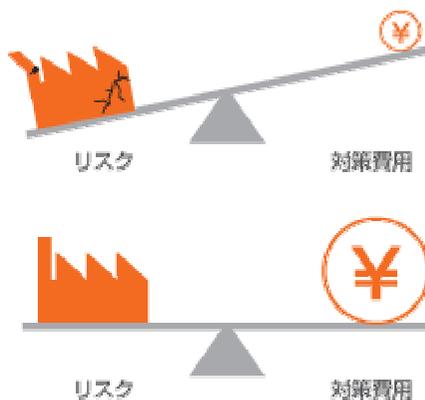
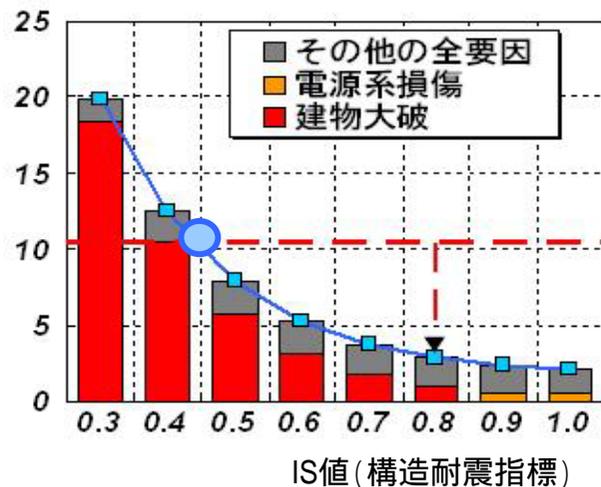




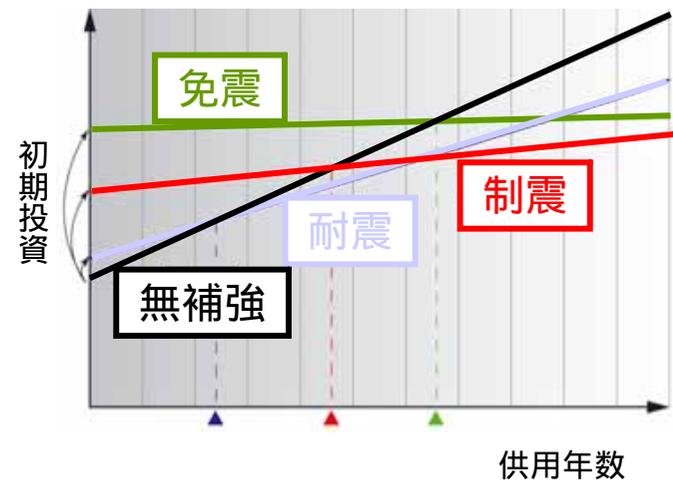
地震動の予測(地震ハザード)、建物や設備の損傷発生確率評価(fragility)、建物・設備のコストデータ(再調達価格、営業収入など)に基づき、年間地震リスク、最大予想損失額、累積トータルコストなどを算定し、建物の地震リスクを総合的に診断します。

地震リスクを把握することにより、費用対効果に基づいた耐震対策の優先順位付けが可能になり、BCP(事業継続計画)にも役立てることができます。

最大予想損失額(億円)



期待ライフサイクルコスト



Keyword 情報管理・共有 (一部抜粋)

耐震・制震・免震・設計、監理、技術コンサル

構造解析

耐震診断

耐震、制震、免震補強設計

地盤の液状化検討、斜面安定検討

エンジニアリング・レポート

戸建て住宅 構造設計システム

FM(ファシリティマネジメント)システム

PM(プロジェクトマネジメント)コンサル

居住性評価

不動産財務分析システム

不動産価値情報提供システム

住宅情報システム

(LLP:SMILEプロジェクト)

モバイル施工点検システム

建築現場管理ASPサービス

Keyword

安全性
・資産価値



Keyword

環境対策



Keyword

情報管理
・共有



Keyword

リスク管理



ビル風・風環境評価解析

大気質評価

水環境評価

振動評価

音環境評価

室内気流・温熱環境評価

視環境(色彩・照明)評価

電波・通信環境評価

屋上・壁面緑化

地震動評価

地震被害想定

津波被害予測

事業継続計画(BCP)策定

地震リスク評価による補強設計、

優先順位評価

リスク分析/意思決定支援

防災マニュアル策定

リアルタイム被害収集システム

避難計画・シミュレーション

防犯監視システム

Support system For Management of Information Living and Environment

「住宅・耐久消費財・金融資産に係わる品質・履歴情報は、本来そこに居住する住まい手や、その所有者のものである」という理解のもと、

住まい手・所有者自身が、各所のデータ源に散在する情報を収集・集約・活用するための支援システムの構築をめざします



LLP: Limited Liability Partnership (有限責任事業組合)は、経済産業省の主導のもと、昨年8月に新たに創設された制度で、新規創業の促進、創造的な連携共同事業に適した仕組みとして注目されている。

構造計画研究所が提供する建物、人、安全に関するソリューション (一部抜粋)

耐震・制震・免震・設計、監理、技術コンサル

構造解析

耐震診断

耐震、制震、免震補強設計

地盤の液状化検討、斜面安定検討

エンジニアリング・レポート

戸建て住宅 構造設計システム

FM(ファシリティマネジメント)システム

PM(プロジェクトマネジメント)コンサル

居住性評価

不動産財務分析システム

不動産価値情報提供システム

住宅情報システム

(LLP:SMILEプロジェクト)

モバイル施工点検システム

建築現場管理ASPサービス

Keyword

安全性
・資産価値



Keyword

環境対策



Keyword

情報管理
・共有



Keyword

リスク管理



ビル風・風環境評価解析

大気質評価

水環境評価

振動評価

音環境評価

室内気流・温熱環境評価

視環境(色彩・照明)評価

電波・通信環境評価

屋上・壁面緑化

地震動評価

地震被害想定

津波被害予測

事業継続計画(BCP)策定

地震リスク評価による補強設計、

優先順位評価

リスク分析/意思決定支援

防災マニュアル策定

リアルタイム被害収集システム

避難計画・シミュレーション

防犯監視システム